

地学協働

北海道の地域と学校の連携・協働を応援する広報誌 No. 47

TOPIC

1. 「CSユースリーダーnote」開設
2. 地域と学校の連携推進協議会（道央ブロック）開催案内
3. 第2回放課後活動推進協議会【道南会場】開催報告
4. R8子供の読書文科大臣表彰事例
5. 子どもの読書活動推進コーナー

8月

1 文部科学省「CSユースリーダーnote」開設

CSユースリーダーとは、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わる若者の参画を増やしていくために、文部科学省から委嘱された若い世代の担い手です。

すでにご覧いただいた方もいらっしゃると思いますが、「CSユースリーダーnote」には、CSユースリーダーの自己紹介や取組紹介等の記事が掲載されています。

今後も定期的に更新されていくようですので、ぜひご覧ください。



▼URL▼

<https://mext-cs-youthleader-gov.note.jp/>



2 地域と学校の連携推進協議会（道央ブロック）申込受付中！

1 日 時

令和8年（2026年）9月18日（金）13:15～15:45

2 開催方法

Web会議システムZoomによるオンライン開催

3 参加対象

市町村行政関係者、学校関係者（地域の方・保護者等を含む）、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーターを含む）、社会教育関係者、社会教育主事、指導主事等

4 内 容

(1)実践発表

「地域の状況に応じた取組の実際及び成果と課題について」

(2)協 議

「各学校や地域が抱える課題の解決と今後の取組について」

PlantID をお持ちの教職員の方は、「Plant」ログイン後、下記研修コードで検索し、申込みください。

【研修コード：2026教石12】



申込べ切：9/9（水）

令和8年度（2026年度）
地域と学校の連携推進協議会（道央ブロック）
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて～

実践発表や協議を通して、子どもたちの学びや成長を支える
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するための
行政、学校、地域学校協働活動推進員の良質な取組を知るとともに、
各地域の状況に応じた課題解決のための今後の取組を明確にします。

日時 令和8年（2026年）9月18日（金）13:15～15:45（受付13:05～）
開催方法 Web会議システムZoomによるオンライン開催
対象 市町村行政関係者、学校関係者（地域の方・保護者等を含む）、学校運営協議会委員、
地域学校協働活動推進員（地域コーディネーターを含む）、社会教育関係者、
社会教育主事、指導主事 等

日程
13:05 受付
13:15 開会
13:20 実践発表（60分）
14:20 質疑応答
14:30 休憩
14:40 協議（60分）
15:40 閉会

内容
(1) 実践発表
「地域の状況に応じた取組の実際及び成果と課題について」
①「釧路市立中学校における地学協働の取組」
～15年教育構想を実現する地域教育への挑戦～
一部活動地協働推進員から地学・地域・行政の新たな関係へ
講師 後志管内留萌郡立留萌中学校 校長 林 徳義 氏
講師 北海道地学協働アドバイザー 青田 基 氏
②「道庁高等支援学校の取組「HKS サポート」の取組」
講師 北海道地学協働アドバイザー 青田 基 氏
(2) 協議
「各学校や地域が抱える課題の解決と今後の取組について」
進行 石狩教育局 社会教育指導課
道庁 社会教育指導課主事 社会教育主事

参加申込 右記2次元コードまたは下記URLから
9月9日（水）までにお申込みください。
【URL】<https://www.harp.jp/jp/4aharqQ>
※2次元コードでの申込みが難しい場合は、お電話でお問い合わせください。
※「協議」では、グループ交流を行うため、可能な限りお一人ずつの申込み・参加をお願いします。

その他 (1) 市議会等が指定した会場については、北海道教育委員会ホームページや広報等で
確認してください。あらかじめご了承ください。
(2) 市議会等が指定した会場は、インターネット環境に接続できる場所での参加は、
原則としてできません。事前に確認と承認の取得をお願いします。
(3) 参加費は、ZoomのID等をお知らせいたします。
(4) 参加費は、市議会等が指定した会場（会場「Plant」）から申込みください。

お問い合わせ先
石狩教育局教育支援課 社会教育指導課
担当 社会教育指導主事 社会教育主事
Tel: 011-204-5879 Fax: 011-204-5880

開催日：令和8年（2026年）7月1日（水） 主管：渡島教育局
 開催地：渡島総合振興局合同庁舎 参加者：26名

放課後や休日などにおける子どもの活動拠点づくりに関わる方々を対象に、子どもへの活動支援の在り方を含めた専門的な演習等を行い、放課後活動を支える人材の資質向上を図るため、渡島総合振興局合同庁舎を会場に、放課後児童支援員や行政職員等が参集し、協議会を行いました。

1 情報交流・説明

進行	渡島教育局教育支援課社会教育指導班	社会教育主事	吉田 修介
説明	渡島教育局教育支援課学校教育指導班	指導主事	加藤 春彦

参加者は、4～5人1組のグループで、普段の業務内容や、子どもたちと関わる上で課題と感じていること等について交流しました。

職場や職種が異なる参加者が、それぞれの立場による視点から、各所属における活動の充実に向けて意見を交換しました。

その後、渡島教育局から支援が必要な児童への対応のポイントについて説明を行いました。集団全体の指導・支援の工夫や、実態把握をする際のポイントについて、理解を深めました。



情報交流の様子

2 演習 A：「バルシューレの魅力と子どもの運動」

講師 北斗スポーツクラブ 事務局長 窪岡 義人氏

初めに講師から、バルシューレの概要について説明がありました。その後、参加者は実技を通して、子どもの運動の土台となるボールを扱う力や周囲を見る力、仲間と協力する力を遊びの中で育てることの重要性について、汗を流しながら学びを深めました。



バルシューレ演習の様子

演習 B：「子どもも大人も楽しもう！読み聞かせの世界」

講師 読み聞かせグループ うさぎのみみちゃん

講師からは、読み聞かせのプログラムを考える際の選書のポイントや、活動の工夫について説明がありました。参加者は、1冊の絵本を役割分担しながら朗読を実践する活動を通して、読み聞かせを行う際のポイントについて、理解を深めました。最後は人形劇を行い、聞き手を巻き込んだプログラムの工夫について学びました。



読み聞かせ演習の様子

演習 C：「仲間づくりとコミュニケーショントレーニングの実際」

講師 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森 社会教育主事 渡辺 裕太氏

子ども同士のコミュニケーションを深める活動を体験することを通して、アイスブレイクの意義や子どもたちに指導する際のポイントについて理解を深めました。また、講師からは自身の実体験に基づいて、子どもが安心して活動するための配慮すべきことについて説明があり、参加者は楽しみながら学びを深めました。



仲間づくり演習の様子

参加者の感想

- 参加者との交流で（他の方の）意見を聞くことができ、良かった。
- 入社2か月で児童対応で悩んでいた時期だったので、良かったです。
- 子ども達だけではなく、職員の関係づくりにも使える内容であった。

令和8年度子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体（個人） 文部科学大臣表彰 受賞校等紹介

文部科学省では、平成14年度（2002年度）から、国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進するため、特色ある優れた実践を行っている学校・園、図書館、団体・個人に対し、大臣表彰を行っています。

今年度の北海道の受賞校等（1園・2校・2館・2団体）の取組を紹介します。

稚内

学校法人量徳学園 稚内大谷幼稚園・オアシス保育園

乳児期から絵本に接することは、言葉や想像力、表現力等の発達に重要であるとの考えに基づき、絵本活用の年間計画を整備し、読み聞かせ活動などを実施しています。

函館市立巴中学校

図書委員、学校司書、図書館ボランティア、学校運営協議会や地域コーディネーターなど、多様な人材が学校図書館運営に関わり、生徒の読書活動を支援しています。

函館

北海道帯広三条高等学校

図書局の生徒を中心に、図書館報やおすすめ本POPの制作など、創意工夫に富んだ取組を推進しており、帯広市図書館の活動を通して地域とも交流しています。

帯広

日高

日高町立門別図書館郷土資料館

学校図書館支援や移動図書館車の巡回などを通して、子どもたちに読書機会を提供しているほか、併設されている郷土資料館や地域の研究者と連携した取組も実施しています。

斜里

斜里町立図書館

小中学生対象の「子ども司書講座」「図書館みらいキャンパス」等のワークショップや学習支援を実施。交流掲示板「YAコミュ板」により、中高生の来館も促進しています。

遠別町読み聞かせボランティア ぐう・ちょき・ぱあ

認定こども園や小学校での定期的な読み聞かせ活動、町民文化祭での会員手作りのパネルシアターなど、子どもたちが本に触れる機会を創出しています。

遠別

野付地区読み聞かせボランティア ねぎぼうず

小学校で始めた読み聞かせ活動を幼稚園や中学校にも拡大。野付学区の学校運営協議会に参画し、地域と学校の協働による読書環境づくりを進めています。

別海



全国の取組事例（事例発表）はこちら

文部科学省「子ども読書の情報館」

- ・平成22年度（2010年度）以降の事例が検索できます。
- ・上で紹介した受賞校等の取組をもっと詳しく知りたい方も、こちらで「北海道」を検索してください。

<https://www.kodomodokusyo.go.jp/jirei/index.html>



北海道のこれまでの受賞校等はこちら

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/monkahyosho.html>



道立図書館
100周年
関連事業

今日は



で

読書

の日

を実施
しました。

1926年（大正15年）に道立図書館が開館して、今年で100周年。その記念イベントの1つとして、8月3日（月）、札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）で、「北海道の歴史と未来をつなぐ読書の日」をコンセプトにした、読書イベントを実施しました。

第1部 北海道立図書館100周年の歴史を振り返る

午前の「第1部」は、アナウンサーによる読み聞かせやシンガーソングライターの方の歌唱など、道立図書館開館100周年をお祝いする賑やかなステージとなりました。「開館100周年PR動画」や100年の歩みをまとめた「回顧パネル」など、開館当時の写真や所蔵資料の紹介にも、チ・カ・ホを通行する方に足を止めていただきました。

★道立図書館開館100周年記念ウェブサイト（「開館100周年PR動画」がご視聴いただけます。）

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/news/spgpdg00000000jx.html> ▶ ▶ ▶



第2部 図書館・北海道の読書推進の未来を語る

高校生

大学生

午後は、図書館や読書活動の未来を担う高校生・大学生によるステージ発表を行いました。

Dokusho-1グランプリ
ステージプレゼン部門

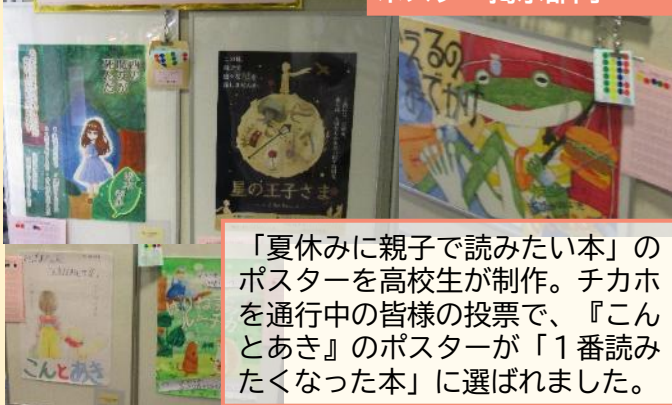


高校生4名が「夏休みに親子で読みたい本」を紹介しました。会場参加者から「1番読みたくなった本」に選ばれたのは『カエルのおでかけ』！

『カエルのおでかけ』高島那生/作・絵 フレーベル館 2013

Dokusho-1グランプリ

Dokusho-1グランプリ
ポスター掲示部門



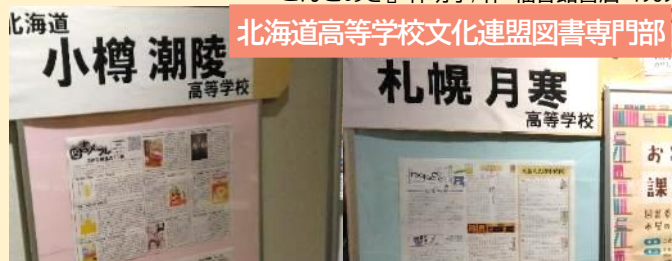
「夏休みに親子で読みたい本」のポスターを高校生が制作。チカホを通行中の皆様の投票で、『こんとあき』のポスターが「1番読みたくなった本」に選ばれました。

『こんとあき』林明子/作 福音館書店 1989

北翔大学 絵本の読み聞かせ



北翔大学短期大学部の認定絵本士養成講座で学ぶ5名の皆さんが、歌あり、クイズあり、じっくり聞かせる場面あり…の楽しいステージで、イベントを締めくくっていただきました。



毎年開催されている「図書館報コンクール」の令和7年度最優秀賞受賞校、小樽潮陵高校・札幌月寒高校の図書館報を展示し、活動を紹介しました。

当日の様子を1分間のダイジェストで公開中（YouTube社会教育課チャンネル）
<https://youtube.com/shorts/T4gSnKsdS38?si=xvXwsnJAPksu0aey>



題字の背景写真は、「北海道公式観光サイト『HOKKAIDO LOVE!』」

（公益社団法人 北海道観光機構）のフォトライブラリーからご提供いただいております。

● 掲載サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/>